

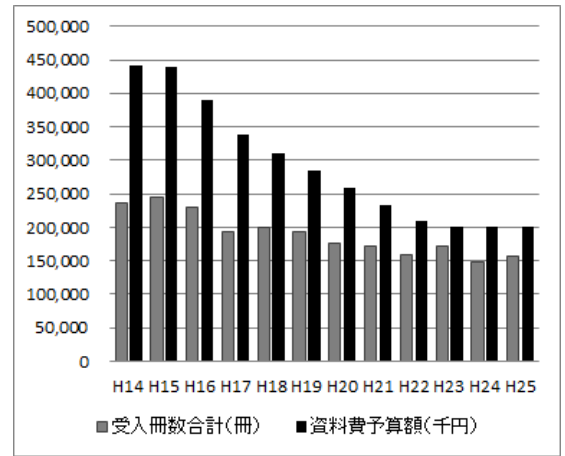
## 8 平成 25 年度 事業のまとめ

### (1) 司書の専門性を発揮したサービスを進展させました

#### ア 蔵書再構成5か年計画の実施

##### (ア) 資料管理の課題解決に向けた規程の見直し

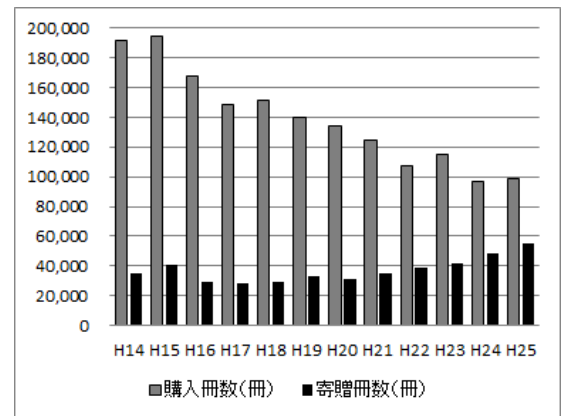
平成 25 年度は、前年度に実施した「蔵書再構成5か年計画中間振り返り」において課題とされた「横浜市立図書館資料収集基準」など、資料収集や管理に関わる規程を見直しました。社会情勢や図書館の役割の変化に対応した内容に変更することで、より効果的な収集・管理が可能となりました。



【受入冊数・資料費推移】(『横浜市の図書館』『日本の図書館 統計と名簿』より)

##### (イ) 寄贈図書を受入れの強化

市立図書館では、財政状況の厳しい中、人気作家の小説や話題書、ロングセラーの児童書、郷土資料などの寄贈を募り、蔵書の充実に努めています。平成 25 年度は新たに調査・研究に役立つ資料の寄贈の呼びかけを開始したほか、平成 26 年2月からは「横浜市中心図書館開館 20 周年図書寄贈のお願い」として、中央図書館が寄贈を希望する図書リストでの募集キャンペーンを実施しています。また、横浜市職員に対しても図書寄贈の呼びかけを引き続き実施し、平成 25 年度は 1,153 冊の寄贈がありました。



【購入冊数・寄贈冊数推移】(『横浜市の図書館』より)

##### (ウ) デジタルアーカイブ「都市横浜の記憶」の充実

中央図書館では、貴重資料のデジタル化を継続的に進め、デジタルアーカイブ「都市横浜の記憶」での公開を推進しています。平成 25 年度は、西区の史跡写真や緑区、南区等の写真約 400 点を新規に追加し、画像データ約 10,600 点のほか、テキストデータも公開しています(平成 26 年4月時点)。また、国立国会図書館が提供する横断検索サービス「国立国会図書館サーチ」(平成 24 年1月正式稼働)との連携を継続して行い、より多くの方に「都市横浜の記憶」で公開している資料を閲覧する機会を提供しています。

## イ 子どもの読書活動の支援

### (ア) 横浜市立図書館児童サービス5か年計画

計画に基づき、家庭における読書活動と、家庭・地域・学校との連携を推進しました。子どもと保護者がともに参加し、家庭における読書への興味を深めることができる企画事業を実施しました。また、保護者や保育者への支援として、絵本の選び方や読み聞かせの方法を伝える講座を実施しました。なお、事業の実施については、方面別ブロック(※)内で相互に協力して取り組みました。

※方面別ブロック:市立図書館 18 館を方面別に 4 ブロックに分け、ブロック内で相互に協力して事業を実施する体制

### (イ) 学校教育及び学校図書館への支援

市立図書館では、学校連携事業として学校教育への協力と子どもに身近な学校図書館充実への支援を行っています。平成 25 年 10 月から新たに配置が始まった学校司書に対して、学校図書館づくりや本の紹介の仕方などの研修や交流会を行いました。また、学校図書館の環境整備相談やレファレンスに対応するなど学校司書の支援を行いました。

【平成 25 年度学校連携事業 実績】〔( )内は平成 24 年度実績〕

実施内容	延実施回数 (回)		延利用人数又は冊数	
調べ学習	34	(57)	331 人	(591 人)
図書館見学	335	(364)	11,137 人	(11,474 人)
読み聞かせ・ブックトーク	187	(164)	8,005 人	(7,759 人)
職業体験学習・職業インタビュー	282	(279)	1,117 人	(1,073 人)
教職員向け研修・レファレンス等	397	(276)	3,838 人	(3,521 人)
ボランティア向け研修・相談	119	(186)	1,858 人	(2,864 人)
教職員向け貸出	1,636	(1,414)	41,054 冊	(37,963 冊)
セット貸出	179	(155)	6,540 冊	(5,580 冊)

## (ウ) 具体的な取組

### はまっ子読書フェスティバル

11 月第 1 金曜日の「はまっ子読書の日」に続く、11 月 2 日(土)・3 日(日・祝)に、教育委員会事務局指導企画課との共催で、「はまっ子読書フェスティバル」を開催しました。中央図書館では、学校での読書活動を紹介する「はまっ子読書サミット」が行われたほか、子ども向けには、「図書館たんけんツアー&ブックトーク」と「絵本はともだち」おはなし会を、子どもを取り巻く大人向けには、「子どもと本を結ぶ」と題し、中村 梶子さんの講演会と、子どもと本を結ぶ様々な方法を紹介する講座を開催しました。



講座「子どもと本を結ぶ」(中央図書館)

### おはなし会

家庭における読書活動を支援するために、おはなし会を通じた読書推進活動を行いました。乳幼児・未就学児・小学生向けにおはなし会を実施し、さらに親子で参加しやすい土日・祝休日にも実施しました。また、大人にも読み聞かせの楽しさを感じていただくため大人向けおはなし会も 8 館で行いました(神奈川・中・磯子・港北・緑・山内・都筑・瀬谷)。

さらに、地域との連携を図り、保育所や子育て支援拠点などに出向いての出張おはなし会、乳児健診(主催:各区の福祉保健センター子ども家庭支援課)などの待ち時間中に、親子に向けた絵本の読み聞かせも 6 館で行いました(鶴見・南・磯子・都筑・戸塚・栄)。

### 調べもの講座

子どもが自分自身で本や情報を探せるよう、図書館を活用した調べ方講座等を計 65 回実施しました。特に、夏休みには調べ方を解説したパネルと調べものに役立つ資料の展示も行いました。

子どもが自ら調べる力をつけるための手助けとして、平成 21 年度からパスファインダー(調べものに使える本と調べ方の案内)「横浜探偵団」を作成しています。平成 25 年度は新たに 4 号を発行し、ホームページで公開しました。また過去に発行された号の改訂も行いました。

#### 【パスファインダー「横浜探偵団」(平成 25 年度発行分)】

##### ■ 児童向けパスファインダー

第 13 弾 自由研究ヒント集

第 14 弾 災害・防災

##### ■ ティーンズ向けパスファインダー

第 5 弾 図書館の達人になろう! <Part 3 >

第 6 弾 歴史を学ぼう

## (エ) 家庭・地域での子どもの読書の支援

家庭や地域における読書活動を支援するため、子どもを取り巻く大人の方に向けた読み聞かせ講座を計 89 回開催しました。ショッピングセンターで読み聞かせ講座を行ったほか、保育所、各区の子育て支援拠点・地域ケアプラザや地区センターなどの市民利用施設へ司書を講師として派遣し、市民に身

近な場所での講座も開催しました。

【平成 25 年度読み聞かせ講座 対象別実施状況】〔( )内は平成 24 年度実績〕

対象	回数(回)	参加人数(人)
読み聞かせボランティア	42 (37)	817 (792)
保護者・一般市民	40 (38)	1,577 (1,246)
保育所・子育て支援者・ 放課後児童クラブ指導者	6 (6)	109 (176)
その他(市民図書室等)	1 (1)	39 (29)

(オ) ボランティアの養成・支援

地域や学校で実施する読み聞かせ・図書修理等の活動を支援するため、ボランティア向けの講座を実施しました。具体的には、絵本の読み聞かせ、図書修理などの講座を計 62 回実施しました。新たな取組として、地域のシティガイドボランティアに向けた郷土資料や作家等の講座を計3回行いました。

そのほか、地域で読書に関する活動を行うボランティアグループ向けの図書の貸出も行いました。

【平成 25 年度ボランティア向け講座 実施状況】〔( )内は平成 24 年度実績〕

ボランティア向け講座内容	回数(回)	参加人数(人)
読み聞かせ	42 (37)	817 (792)
図書修理	17 (19)	227 (212)
郷土資料・郷土作家	3 (0)	55 (0)
わらべうた	0 (1)	0 (25)
図書室環境整備	0 (2)	0 (103)

ウ 市民の学習活動・課題解決の支援

(ア) 市民の調査研究への支援

図書館では、市民の方が必要な図書や情報を探し出すお手伝い(レファレンス)を行っています。

国立国会図書館「レファレンス協同データベース」への事例提供

図書館に寄せられた多くの質問の中から、ほかの方が調べる際にも参考になりそうな事例を国立国会図書館「レファレンス協同データベース」(国立国会図書館が全国の公共図書館等と共同で構築しているデータベース)に提供しています。平成 25 年は事例提供数が 434 点、アクセス数が 242,036 件でした。

ホームページ上での情報提供～「調査のミカタ」シリーズの発行～

所蔵目録や特定のテーマについて資料を紹介するテーマリストなどを「調査のミカタ」シリーズとして発行、図書館ホームページ上にも掲載し、課題解決のための情報提供に努めています。平成 25 年度は「現行受入新聞(原紙)目録」「マイクロフィルム目録」「横浜市電話帳目録」「神奈川県内住宅地図目録」「教科書目録」「法情報索引」「教科書をさがす」「病名索引」「薬を調べる」を改訂しました。

ヨコハマ資料の展示と活用

中央図書館では、横浜に関する貴重なコレクションを紹介する企画展を毎年開催しています。平成 25 年度は、月ごとに行うリレー展示に加え、「大佛次郎ってだれ? -横浜ゆかりの作家、大佛次郎の生涯-」(6/21～7/15)、「横浜市立図書館と長谷川伸～図書館を支えたパトロンたち～」(6/21～7/29)、「シャーロック・ホームズを原書で楽しんだ岡倉天心」(9/18～9/30)等、横浜にゆかりのある人物をテーマにした資料展示を実施しました。展示にあたっては、地域の関連機関との連携を図り、より充実した展示内容を提供しました。また、昨年度に引き続き、横浜市立図書館デジタルアーカイブ「都市横浜の記憶」で公開している錦絵を活用したカレンダーが、市内企業とのコラボレーション企画として制作され、貴重資料が多くの方の目に触れる機会を作ることができました。

## ビジネス支援事業

中央図書館では、4階「ビジネス資料コーナー」「法情報コーナー」を中心に、企業名鑑や白書、統計書、法律書など、ビジネスに役立つ資料を取り揃えています。さらに3階「PCリサーチコーナー」では、各種CD-ROMや企業情報、新聞記事など8種のオンラインデータベースが検索できる端末を設置しています。

移動図書館「はまかぜ号」のみなどみらい地区への巡回では、2巡回毎に時事テーマを取り上げて資料を用意しています。平成25年度は「食と農の最前線」「消費税UP、どうなるの？」などのテーマを取り上げ、ビジネスパーソンへの支援を強化しました。

## 企画事業を通じた課題解決支援～各図書館での取組～

各図書館では、地域のニーズに合わせて生活課題に関連する講座を行いました。具体的には、認知症に関する展示や講座(中央・南・保土ヶ谷・旭・緑・都筑・栄)、相続と遺言に焦点をあて神奈川県司法書士会と連携した「いつか来る『ひとり』に備えるー相続と遺言」(中・旭・都筑・戸塚・泉・瀬谷)、就労を希望する女性を対象にした「女性のためのシゴト探し相談」と関連資料の展示(南)、祖父母による孫育ての支援を目指し、区子ども家庭支援課と連携して実施した「地域と家族の楽しい孫育て講座」(戸塚)、自殺対策の啓発を目的とした展示(南・磯子)などです。事業を通じて身近な課題解決の場所として、図書館を認識してもらうことができました。

さらに、図書館の資料の使い方を身に付けてもらうため、山内図書館では、「大人のための調べ方講座 初級編～上手に使おう！身近な図書館～」を行いました。図書館の資料の探し方をご案内する「館内利用者検索機講座」は13館で実施しました。



展示“いのち”を考える「新しい季節…あなたの大切な人、悩んでいませんか？」(南図書館)  
図書展示のほか、自殺予防に関するポスターの掲示、リーフレットの配布を行いました

### (イ) 行政への支援(庁内情報拠点化事業)

引き続き、庁内の日常業務や新たな事業の企画立案等のために必要な調査、資料紹介、図書の貸出などを行いました。サービスの利用を促進するため、庁内情報拠点化事業活用研修の実施、庁内ネットワーク上での情報提供などを行いました。

このうち、庁内ネットワーク上では、ビジネス誌の最新号の特集記事の紹介のほか、「めざせ☆調査の星」と題したコラムを定期的に更新し、「図書館を活用しよう！仕事のヒントは図書館にある！」「統計を置いておけい。ー中央図書館4階に置いています。其の1～2」「書庫のひ・み・つ 1～書庫の資料を利用するには？」など、仕事に役立つ情報や調べ方のヒントを紹介しました。

#### 【平成25年度庁内情報拠点化事業 利用実績】[( )内は平成24年度実績]

業務用資料貸出		レファレンス受付		ブックリスト作成	
対象局区数	利用実績(冊)	対象局区数	利用実績(件)	対象局区数	利用実績(件)
43(43)	1,834(1,951)	44(43)	281(275)	3(5)	4(7)

#### 【平成25年度ブックリスト作成実績】

タイトル	依頼元
「生物多様性」「生態系」を知るための40冊	環境創造局政策課
「外来生物」を知るための55冊	環境創造局政策課
新たに係長になった方にお薦めする本	総務局人材開発課
「燃料電池自動車(FCV)」を知るための33冊	環境創造局交通環境対策課

## エ 地域情報の収集・提供の推進

### (ア) 地域情報の収集・提供の推進

図書館ごとに、地域の関係機関・団体との連携や企画事業の実施などを通して、地域資料の積極的な

収集を推進しました。収集した資料は、図書館内に設置した地域情報コーナーでの情報提供や郷土写真展などの資料展示、ホームページでの公開といったかたちで、図書館から情報を発信しました。

#### (イ) 各図書館の取組～企画事業～

企画事業では、郷土史講座と歴史散策、企画展示を行いました。講座では、各地域の歴史を、神話や地形などの様々な切り口から捉えた魅力ある講座が行われ、郷土資料家やガイドボランティアを講師として招きました(中央・鶴見・旭・金沢・緑・山内・戸塚・栄)。また、中央図書館では実際に地域を散策する歴史散策講座を組み合わせて行いました。

また、講座と合わせて関連図書の展示も行いました。「聞く！見る！訪ねる！晩秋の緑区歴史散策～図書館で再発見～」(緑)では、講座会場に、通常は書庫に入っている地形図や航空地図も展示しました。

展示ではギャラリートークと題して、展示会場でパネル等の解説を行う方法が好評でした(港南・緑)。栄図書館では、栄区にある公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化センターの協力により、出土品と郷土資料の展示を行いました。このように地域の機関と協力しながら、地域情報の発信を行いました。

#### (ウ) 地域情報のデジタル化の推進

瀬谷図書館では、開館 30 周年を迎える平成 26 年度に先立って、平成 25 年度より「瀬谷区風景写真データベース」を作製し、写真展やホームページで公開する準備を進めました。すでに所蔵していた写真パネルに新たな写真を加え、ふるさと瀬谷の懐かしい風景を、写真データベースとして後世に残すことを目指したものです。プレイベントとして「郷土パネル展示 ふるさと瀬谷のうつりかわり」(11/20～12/10)も行いました。

### オ 地域と連携した読書推進活動の充実

#### (ア) 地域の市民団体との連携・協働

図書館では、地域で活動するボランティア団体等と連携して読書活動を支援しています。地域のボランティアの抱える課題を共有し、課題解決に向けた話し合いの場として「ボランティア交流会」等を平成 25 年度は計 14 回開催しました。

また地域の各種機関や団体等との連携を通じ、市民の身近な施設に出向く「出張おはなし会」及び「出張講習会」を行いました。

#### 【平成 25 年度出張おはなし会 実施状況】[( )内は平成 24 年度実績]

場所	回数(回)	参加人数(人)	備考
保育所・子育て支援拠点	21 (27)	762 (1,140)	
区役所乳児健診会場	647 (628)	16,555 (14,355)	ボランティアによる実施も含む。
その他	10 (12)	644 (286)	市民図書室、小学校放課後教室等

#### 【平成 25 年度出張講習会 実施状況】[( )内は平成 24 年度実績]

内容	回数(回)	参加人数(人)	実施場所
読み聞かせ・わらべうた・ブックトーク	31 (33)	1,408 (1,138)	区役所、保育所、子育て支援拠点、ショッピングセンター等
図書修理	5 (4)	58 (38)	地区センター、幼稚園
その他(児童サービス等)	3 (1)	34 (56)	地区センター等

#### (イ) 他機関(大学・研究機関・行政機関など)との連携・協働

##### ヨコハマライブラリーカフェ・横浜市開催事業との連携

平成 25 年度に中央図書館では、市内の大学や研究機関のほか、日本貿易振興機構アジア経済研究所や河北新報社等とも協力し、ヨコハマライブラリーカフェを 14 回開催しました(平成 22～25 年度 累計 33 回開催)。また、本市イベントである「横浜音祭り 2013」においてはライブラリー・コンサートを、「気候変



動に関する政府間パネル(IPCC)総会」においては、IPCC横浜会議・記念シンポジウム「だめじゃん、地球温暖化。異常気象が日常に!？」(主催:認定NPO法人気候ネットワーク、公益財団法人横浜市資源循環公社)をそれぞれ実施し、図書館の資料紹介や展示とあわせて事業を広くPRしました。

### 森の中のプレイパーク事業

子どもの調べ学習支援として、環境創造局みどりアップ推進課と共催で、森の中のプレイパーク事業を7館(神奈川・中・保土ヶ谷・旭・都筑・栄・瀬谷)で実施しました。これは戸外での自然観察の後、図書館で調べ学習を行うものです。また「横浜の自然を知ろう!調べよう!森の恵み塾写真展『ヨコハマ里山紀行』」と題して市内の自然を写した写真と調べ学習の方法を解説したパネル展示を3館(鶴見・保土ヶ谷・瀬谷)で行いました。

### 「つるみっ子絵本広場」(※)

鶴見図書館では、鶴見区の福祉保健センターこども家庭支援課と連携し、「つるみっ子絵本広場」の協力ボランティア養成講座を行っています。この講座を通じて、4か月児等健診に参加する親子にわらべうたと絵本の紹介をするボランティアの活動を支援しています。この講座は毎年開催され、司書、保健師などが講師となりそれぞれの立場から支援を行っています。講座を通じて新しいボランティアが養成されるなど、継続的な活動を支える礎となっています。また、連続講座には一般市民も受講できる公開講座が盛り込まれ、育児支援の機会として好評を得ています。

※平成11年度事業開始。平成15年度から市民の方の協力を得て、わらべうたと絵本による子育て支援を行う。

### 図書館 de ものづくり企業紹介パネル展「メイド イン つづき」

都筑図書館では、区役所・地元企業と連携し、利用者に地域の企業情報を提供する取組として、パネル展示「メイド イン つづき」(5月)を実施し、都筑区区政推進課が作成した冊子「メイド イン つづき」に掲載の企業情報のパネル展示と、実際の製品(缶ヒーター、発砲スチロール家具)の展示を行いました。この事業を通じて、製品展示の2社及び区政推進課とは、今後の事業展開を見据えた関係を築くことができました。

### 図書館総合展プレフォーラム

第15回図書館総合展(於:パシフィコ横浜、主催:図書館総合展運営委員会)の関連企画として、プレフォーラム「“政策”と“生活”を変える図書館をめざして-市町村立図書館と県立図書館の役割の違いを通して考える図書館連携の未来-」及び「事例で探る“Google 世代”の新しい教育と図書館資源の活用-教員と学校図書館員が“一緒につくる”授業とは!?-」を、中央図書館ホールで開催しました(10/28)。学校教育関係者、図書館関係者、一般市民等、全国から延325人(バックヤードツアー含む)の参加がありました。

## カ 多文化サービスの展開

国際都市横浜の形成と、多文化共生の地域づくり支援のために多文化サービスを推進しました。

具体的には、外国籍や外国につながりを持つ子どもたちが母語で楽しめるおはなし会(中央・南・磯子・金沢・港北)や多文化理解をすすめるおはなし会(中央・神奈川・中・磯子・港北)のほか、外国につながりを持つ児童生徒向けのブックトーク(中央・中)やおはなし会(鶴見・泉)、多文化理解推進に関するワークショップや講演会(中央・港南)、第5回アフリカ開発会議(TICAD V)(平成25年6月横浜で開催)の関連展示をはじめとした世界の国々を紹介する展示(全館)を、市民や他機関との連携等によって実施しました。



ライブラリー・コンサート「うたうどうぶつえん」(中央図書館)



つるみっ子絵本広場公開講座「絵本と出会う」(講師:渡辺順子氏(日本国際児童図書評議会会員))(会場:鶴見区役所)



図書館 de ものづくり企業紹介パネル展「メイド イン つづき」(都筑図書館)



展示「アフリカってどんなところ?」(山内図書館)  
資料展示のほか、アフリカ開発会議や関連事業のポスター展示、パンフレット配布も行いました

## キ 市民協働の推進

引き続き図書館における市民参加の仕組みづくりを進め、全館でボランティアが活動しています。おはなし会は、前年度に比べ活動延人数が増え、土日・祝休日等の定例おはなし会の開催もしました。本の修理では、糸綴じなどの製本技術を身につけることにより、修理可能な資料が増えました。さらに、図書館の書架を整える書架整理ボランティアを導入している館もあります。また、それぞれの活動分野で初級講座、中級講座等を開催し、ボランティアのスキルアップを継続的に支援しています。

平成 25 年度には、地域図書館 17 館で利用者懇談会等を計 50 回開催し、図書館の運営や企画事業などについて意見交換を行いました。

各館の特徴的な例では、旭図書館が平成 24 年 3 月からはじめた、屋上緑化を契機とした活動があります。屋上は「あさひくんの庭」と名付けられ、日々、水やりから花壇の掃除までの維持管理をボランティア団体「グリーン・ボランティア」が行っています。平成 25 年度はオープン・ガーデンとして、春と秋に市民に開放し好評を得ました。



秋のオープンガーデン「あさひくんの庭」～ボランティア・フェスティバル～(旭図書館)  
来場者に苗木の配布を行うことにより、市民の緑化への理解を深める取組としました

### 【平成 25 年度ボランティア活動実績】 [( )内は平成 24 年度実績]

活動内容		活動館数(館)	活動延人数(人)	延件数または延日数	備考
おはなし会	司書との協働	15 (15)	552 (493)	287 件(292 件)	おはなし会参加者総数 6,428 人(6,512 人)
	ボランティアのみ	15 (15)	1,875 (1,580)	722 件(706 件)	11,898 人(11,945 人)
図書修理		13 (13)	3,885 (3,827)	907 日(877 日)	総修理冊数 10,674 冊(10,095 冊)
書架整理		8 (8)	2,760 (2,530)	1,036 日(907 日)	
環境整備		1 (1)	335 (332)	257 日(198 日)	(内容)生け花の展示、 庭の手入れ
自主企画事業		10 (16)	518 (548)	86 件(86 件)	(内容)検索機講座、歴 史散策、各種講座等
その他		4 (5)	172 (91)	31 件(11 件)	(内容)広報活動等

### 【平成 25 年度利用者懇談会等実施状況】[( )は平成 24 年度実績]※懇談会設置前の事前準備のための開催を含む

図書館	懇談会名称(設置年月)	開催数(回)	図書館	懇談会名称(設置年月)	開催数(回)
鶴見	鶴見図書館利用者・団体懇談会 (平成 23 年 2 月)	1 (1)	港北	「港北図書館友の会」と図書館 との連絡会(平成 22 年 6 月)等	13 (13)
神奈川	神奈川図書館懇談会 (平成 22 年 11 月)	2 (1)	緑	修理ボランティア交流会 (平成 24 年 2 月) 等	4 (6)
中	中図書館書架整理ボランティア 懇談会(平成 23 年 7 月)等	2 (2)	山内	利用者フォーラム (平成 22 年 7 月)	2 (2)
南	南図書館を囲む会 (平成 22 年 6 月)	2 (3)	都筑	都筑図書館から未来を描く協働の 会(平成 24 年 12 月)	10 (8)
港南	港南図書館懇談会 (平成 21 年 12 月)	1 (1)	戸塚	戸塚図書館利用者懇談会 (平成 22 年 3 月)等	3 (4)
保土ヶ谷	保土ヶ谷図書館懇談会 (平成 23 年 2 月)	1 (1)	栄	栄図書館懇談会 (平成 22 年 6 月)	1 (1)
旭	旭図書館応援し隊 (平成 23 年 5 月)	1 (1)	泉	いいところづくり委員会 (平成 22 年 6 月)	2 (3)
磯子	磯子図書館利用者懇談会 (平成 22 年 10 月)	2 (2)	瀬谷	瀬谷図書館利用者懇談会 (平成 22 年 9 月)	2 (2)
金沢	金沢図書館懇談会 (平成 23 年 1 月)	1 (3)	計		50 (54)

## (2) 効率的で効果的な図書館の管理運営を推進します

### ア 地域図書館の管理運営手法の総合的検討

これからの市立図書館には、市民自らが課題解決を図るために必要な資料の提供や、情報の提供・発信を通した市民の読書活動推進の支援、また、区役所や学校を含む地域との連携の一層の強化など、「地域の情報拠点」として、司書の専門性を発揮した質の高い図書館サービスの提供が求められています。一方で、図書

館経営については、厳しい財政状況を踏まえ、これまで以上の効率的な管理運営も不可欠です。

こうした課題に対して、平成 22 年度の山内図書館指定管理者制度導入や、平成 23 年度の都筑・戸塚両図書館の司書補助業務の委託化を進めてきましたが、今年度は、平成 25 年度に引き続き、これらの館の「サービス向上と管理運営の効率化」について具体的な検証・評価を行い、今後の地域図書館のより良い管理運営のあり方、方向性の検討を進めていきます。



パンフレット  
「おひぎにだっこで楽しむ絵本」

## イ 自主財源の確保及び経費の節減(広告事業及び節減)

平成 25 年度の図書館広告事業による歳入額は 4,336 千円、節減額は 1,528 千円でした。

広告事業で特筆すべき事例は、パンフレット「おひぎにだっこで楽しむ絵本」への広告掲載です。これは0歳からの図書館利用をすすめるもので、各区福祉保健センターこども家庭支援課での4か月児健診の際、保護者に一律に配布しています。

また、企業・団体から 681 冊の図書の寄贈を受けることができました。寄贈企業・団体名を図書に貼り付けることで、企業・団体が図書館を支援していることを市民に広くPRできる取組となっています。

全館で実施した雑誌広告事業については、現状及び他都市の事例を検証し、平成 26 年度から雑誌本体をご寄贈いただく「スポンサー制度」として新たに公募を行う準備を進めました。

引き続き広告事業等により、自主財源の確保に努めるとともに、管理運営経費の節減に積極的に取り組みます。

## ウ 身近で便利な図書館サービスの充実について

区役所との連携事業として、平成 17 年 12 月に開始した図書の貸出・返却取次サービスを引き続き実施しています。平成 23 年4月からは、二俣川駅・東戸塚駅の行政サービスコーナー内の図書取次コーナーが横浜市の図書館情報システムとオンラインでつながり、タイムラグなく貸出・返却の処理ができるようになっています。

### 【平成 25 年度利用実績】

区	場 所	実施内容	延利用数		
			利用者(人)	貸出(冊)	返却(冊)
旭	二俣川駅(相鉄線) 行政サービスコーナー	貸出・返却	39,692	62,531	100,475
戸塚	東戸塚駅(JR線) 行政サービスコーナー	貸出・返却	75,892	121,438	158,528
青葉	美しが丘西地区センター	貸出・返却	8,207	13,420	13,203
	大場みすずが丘地区センター	貸出・返却	4,436	7,255	7,637
	奈良地区センター	貸出・返却	8,789	14,461	17,162
	藤が丘地区センター	貸出・返却	10,776	17,505	14,935
	若草台地区センター	貸出・返却	8,706	14,290	12,447
	田奈ステーション (区民交流センター内)	貸出・返却	7,856	13,093	12,711
	青葉台コミュニティハウス	貸出・返却	12,062	19,298	14,122
	市が尾駅(東急線) 青葉台駅(東急線) たまプラーザ駅(東急線)	返却ポスト			177,649
図書取次サービス事業総計			176,416	283,291	528,869

## エ 図書館サービスポイント・ネットワーク整備事業

「横浜市教育振興基本計画」に基づく「市民に身近で便利な図書館サービスの一層の充実についての検討」については、平成 23 年度に基礎調査、平成 24、25 年度には基本計画調査を実施し、通勤や通学など市民生活上の動線となる交通拠点(駅)を中心として、市民に身近な情報拠点となる図書館サービス機能につい



て調査・検討を行いました。

平成 26 年度については、これまでの「交通拠点での図書サービス機能強化事業」の調査・検討を踏まえ「図書館サービスポイント・ネットワーク整備事業」として一歩進め、二俣川・東戸塚2駅の行政サービスコーナーで実施している図書取次サービスを中心に、既存の市民利用施設や地域の民間資源などの活用を基本とした整備計画案策定に向けた検討を行います。

### (3) 市民にとって利用しやすい快適な図書館づくりを進めます

#### ア 利用者の要望の把握(広聴事業)

平成 25 年度に「市民からの提案」などに寄せられた図書館に関する意見・提案は 224 件でした。主な内容は、件数の多い順に、図書館の運営に関すること (59 件)、予約に関すること (44 件)、図書館の施設管理に関すること(36 件)、蔵書などの資料に関すること(28 件)、貸出・返却に関すること(20 件)となっています。

#### 【平成 25 年度 図書館への意見・提案】

項目	内容	件数	主な意見・要望等
図書館の施設管理に関すること	施設管理	36	駐車場・駐輪場、喫煙・禁煙
図書館の運営に関すること	図書館建設・充実	14	図書館の新設要望
	行政サービスコーナー等連携	11	他施設との連携、駅などの返却ポスト要望
	開館日・開館時間	8	開館時間の延長要望、臨時休館への苦情
	その他	26	指定管理者制度、他都市との連携
	小計	(59)	
図書館サービスに関すること	予約	44	予約冊数、Web 検索
	貸出・返却	20	督促・延滞、貸出冊数
蔵書に関すること	蔵書充実・資料収集	15	図書の購入希望、雑誌の購入希望
	資料管理・書架管理	4	書誌データの管理、資料の装備
	その他	9	選定基準、寄贈
職員に関すること	市民応対	18	職員の対応への苦情、お礼、感想
その他		19	利用者マナー、コピー機
合 計		224	

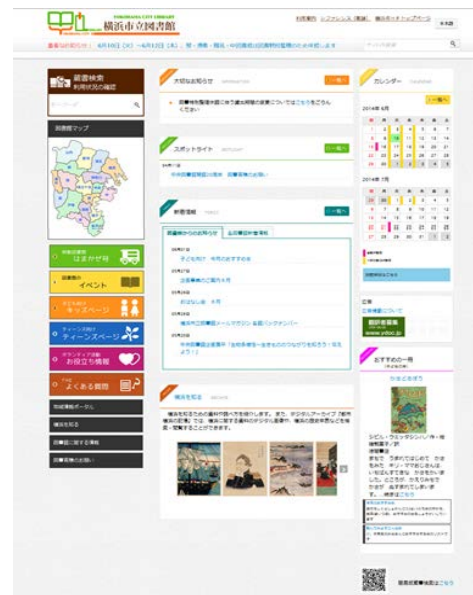
#### イ 広報活動

ホームページとメールマガジンを主体として積極的に情報発信を行いました。ホームページは平成 26 年 3 月にリニューアルを行い、アクセス数の多いページへのメニューを常に表示するなど利便性を向上させました。各図書館のホームページも内容の充実に力を入れ、郷土資料に関するページや自主企画事業の報告などを積極的に発信しました。また外部の広報媒体を使っでの情報発信は、ミニコミ紙・ケーブルテレビ等を中心に行い、記事掲載数は大幅に増加しました。記者発表件数は 32 件 (平成 24 年度 39 件)、新聞等のメディアで報道された件数は 1,007 件 (企画運営課確認分・平成 24 年度 810 件) でした。

#### 【図書館ホームページ アクセス件数】 (件)

	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
図書館ホームページ ※蔵書検索ページアクセス数を除く	7,103,046	7,795,877	7,493,393
図書館蔵書検索ページ (※1)	31,580,374	19,732,518	10,377,671

※1 平成 24 年 12 月までは検索回数、平成 25 年 1 月以降は表示回数



リニューアル後の市立図書館ホームページ (トップページ) (平成 26 年 6 月時点)

【メールマガジン登録アドレス数】(件)

平成 25 年度	平成 24 年度
858	731

ウ 企画事業の実施

(主な事業の詳細は、「5 平成 25 年度利用統計(10)企画事業、その他の事業」(P. 22～P. 28 参照))

(ア) 統一キャンペーン

平成 25 年度も、全館で同時期に統一のテーマに沿って事業を実施する「統一キャンペーン」を、春・夏・秋の計3回実施しました。統一のイベントちらし・ポスターを作成したほか、記者発表を行い、幅広いメディアへの広報活動に努めました。また、キャッチコピー・ロゴは平成 23 年度から継続して同じものを用いています。

【平成 25 年度 統一キャンペーン一覧】

	春(こどもの読書週間)	夏(夏休み)		秋(読書週間)
実施期間	4/1～5/13	7/20～9/1		10/1～11/17
キャッチコピー	新しいこと、本と いっしょに。	いっしょによむと、 もったのしい。	答えはいつも本の中	やっぱり読書の秋
対象	・児童 ・乳幼児と保護者	・乳幼児と保護者	・小・中学生	・一般 ・児童 ・乳幼児と保護者

(イ) 周年記念事業

中央(開館 20 周年)、戸塚(同 35 周年)、栄(同 25 周年)、泉(同 25 周年)で周年記念事業を実施しました。中央図書館では、文筆家・評論家の津野海太郎氏を招いて、講演会「本のこれから 本とこれから～出版・本・図書館のゆくえ～」(2/22)を行いました。あわせて中央図書館開館以降の横浜市立図書館の歴史を振り返るパネル展「横浜の図書館がひとつになった日」(1～2月)を行いました。戸塚図書館では、「地域学講座 戸塚のホタルを見る」(6/2)を行い、ホタルの生態や生育環境、戸塚でホタルを見ることができる場所について、また、地域の自然環境の変遷などについて学びました。栄図書館では、記念イベント日(3/16)を設定し、記念植樹、おはなし会や紙芝居を行ったほか、25 年間の芥川・直木賞を紹介する展示「芥川賞・直木賞の四半世紀」を行いました。泉図書館では、講師に渡邊令恵氏(かるた永世クイーン)を始めとして、地域に関わりのある講師をお招きし「連続講演会 スポットライトいずみ(全3回)」を行いました。



左：講演会「本のこれから 本とこれから～出版・本・図書館のゆくえ～」(中央図書館)  
中央：「戸塚図書館開館 35 周年 地域学講座 戸塚のホタルを見る」ポスター(戸塚図書館)  
右：「栄図書館開館 25 周年記念イベント：タッチーくんと楽しむおはなし会」(栄図書館)

(ウ) 複数館合同事業

作業を分担することにより効率的に事業を実施するとともに、事業効果を拡大することを目指して、隣接する館や鉄道沿線など、つながりのある図書館間で合同事業を開催しました。平成 25 年度は、ボランティアに向けた講座と写真展を行いました。

昨年度に引き続き、鉄道沿線でつながり、横浜市の西部に位置する保土ケ谷・旭・泉・瀬谷図書館の4館では、学校で活動する読み聞かせボランティアに向けて「まずはここから！絵本の読み聞かせコツのコツ」講座を開催(6月～10月)したほか、巡回展示「横濱南部歴史写真帖」を、横浜の南部に位置する南・港南・磯子・金沢図書館の4館の合同開催によって実施しました。

#### (4) その他のトピックス

##### ア 読書活動の推進に関わる取組

平成 25 年6月策定の「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」を受け、広く横浜市民の読書活動を支えるための環境を整え、読書活動を推進するために、平成 26 年3月に「横浜市民読書活動推進計画」が策定されました。これは乳幼児期から高齢期まで、全ての市民を対象とした読書活動の推進に関わる施策を総合的・計画的に進めるための市全体の具体的な取組を示したものです。この計画は「子どもの発達段階に応じた読書活動の推進」「成人の読書活動の推進と担い手の拡大」「読書活動の拠点の強化と連携」「区の地域性に応じた読書活動の推進」の4つの重点項目を立て、それらに沿って具体的な取組の例を挙げた構成となっています。この計画を受けて各区役所は区内の図書館や学校等と連携し、区の読書活動推進に関する目標を平成 26 年度中に策定する予定です。地域・学校・図書館が協力し、区民の読書活動を支援することで横浜市民全体の読書活動の活性化を図ります。



「横浜市民読書活動推進計画[概要]」表紙

##### イ 港北図書館における耐震補強等工事

港北図書館は、平成 25 年8月からの耐震補強等工事が完了し、平成 26 年3月 25 日にリニューアルオープンしました。工事で休館している期間は、敷地内の仮設窓口で、基本的な児童書や予約本の貸出、返却、登録や予約受付など一部サービスを実施しました。

空調・衛生施設の改修のほかに、相談専用カウンターの移設や授乳室の新設、館内利用者用検索機を一般図書室に設置するなど利便性向上に配慮しました。また、地域の情報拠点機能向上として、港北区の情報を提供する「港北まちの情報コーナー」の新設、「医療・子育て各情報コーナー」の拡充、無線LANの導入と映像上映スペース設置などの改修を実施しました。



「港北まちの情報コーナー」(港北図書館)

##### ウ オープンデータの取組

横浜市が現在推進しているオープンデータ(※)に関する実証実験の一環として、行政が保有する情報を文化観光やまちづくりといった地域の活性化につなげていくという観点から実施された「旧東海道ハッカソン」(10/25～10/26) (主催:横浜オープンデータソリューション発展委員会等)に際して、図書館が所蔵する旧東海道の浮世絵などのデジタルデータを提供しました。

※オープンデータ

機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータ。公共データをオープンデータ化することにより、行政の透明性・信頼性の向上、国民参加・官民協働の推進、経済の活性化・行政の効率化が期待されている。(「横浜市オープンデータの推進に関する指針」横浜市政策局政策課ホームページより)